

社員の健康増進への取り組みに対する考え方

社員の「健康」の大切さ

みずほ では、「人事の基本ポリシー」を2016年6月に定め、「人事運営の抜本的改革」の重点戦略を通じて、みずほ の人事の目指す姿である『全ての社員が絶えず成長し能力を最大限発揮して長く活躍すること』を実現し、持続的な社員エンゲージメントの向上を目指しています。

その実現のためには、国内外全ての社員が心身ともに「健康」であることが必要不可欠であり、会社が責任をもって社員の「健康保持・増進」を図ることが、みずほ の持続的成長に繋がるものと考えております。

「健康増進」への取り組み

現在、みずほ グループにおいては、2014年度より、定期健康診断メニューに「胃がんリスク検診(ABC検診)」を加える等、多岐にわたったみずほ 独自の項目を用意するとともに、全社員の受診徹底により、ほぼ100%の受診率となっています。

加えて、社員の「健康保持・増進」の観点から、日々の健康に影響を与える慣行的な長時間労働の削減に向け、「働き方改革」に取り組んでいます。

2017年2月、みずほ は、経済産業省による「健康経営優良法人2017(大規模法人部門)ホワイト500」の認定を受けました。

年齢に関係なく、全ての社員が100%能力を発揮して長く活躍できるよう、働きやすい就業環境づくりに向けた、柔軟かつ多様な働き方の推進と、生活習慣病対策・メンタルヘルス対策・がんの早期発見など、社員一人ひとりの「健康保持・増進」を積極的に取り組んでまいります。



株式会社みずほフィナンシャルグループ
執行役常務 人事グループ長
小嶋 修司

各取り組みの受診率と社員の健康指標

	2014 年度	2015 年度	2016 年度
定期健康診断受診率	99.4%	99.4%	99.3%
定期健康診断有所見率	33.4%	34.4%	34.5%
精密検査受診率	64.3%	64.7%	63.5%
特定保健指導実施率	18.6%	16.0%	28.2%
肥満者率	17.3%	16.7%	16.9%
喫煙率（男性）	27.7%	27.4%	27.1%
喫煙率（女性）	5.4%	5.0%	4.7%
運動習慣者比率	19.5%	19.1%	19.3%
ストレスチェック受検率	-	-	93.9%
メンタル疾患不出勤者	0.74%	0.78%	0.75%

集計対象：みずほフィナンシャルグループ、みずほ銀行、みずほ信託銀行、みずほ情報総研、みずほ証券（・・・はみずほ証券を除く）